市議会うんなん

No.31
2013.1.20

22名の新体制で活動スタート

平成24年　12月定例会

- 議長年頭のあいさつ・第３回臨時会 ……2
- 議会構成 ……3
- 12月定例会 補正予算・条例他 ……4～5
- 委員会報告
  総務常任委員会・教育民生常任委員会・産業建設常任委員会・予算審査特別委員会 ……6～7
- ズバリ市長に問う　一般質問　16名の議員が登壇 ……8～15
- 請願・陳情　議員発議　ほか ……16

雲南市議会の新しい体制が決りました

議員定数22名による雲南市議会がスタートしました。11月28日に臨時会が開催され議会構成が決まりました。

ごあいさつ

雲南市議会議長　**深田徳夫**

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には平成25年の新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は雲南市発足から8年が経過し、市長・市議会議員選挙の年でした。議員定数については、3月議会で22名とすることが決定され、11月11日告示、18日投票が行われ新議員22名が誕生したところであります。また、28日に開催された臨時会において、私が議長に就任いたしました。市勢発展と市議会の更なる活性化に努力していきたいと思います。

雲南市においては「財政非常事態宣言」が解除されたものの、今後、地方交付税一本算定による減額見込み、市庁舎建設、総合センターのあり方、市立病院建設、保育所の民営化、中国横断自動車道尾道松江線開通後のまちづくり等、喫緊の課題が山積しています。審議を担当する各委員会では積極的に現場に出かけ多くのご意見を伺い、審議過程の情報公開に努めてまいります。また、議会報告会でも審議状況を報告するとともに皆様との意見交換ができればと考えています。

平成25年の初春にあたり市民の皆様のご健康とご多幸を祈念しご挨拶といたします。

第3回臨時会報告

第3回臨時会は安井誉議員を仮議長とし、議員と執行部の自己紹介から始まりました。

まず正副議長の選挙を行ない、議長に深田徳夫議員、副議長に藤原信宏議員を選出しました。

その後、各議員の3常任委員会への所属と議会運営委員を決定しました。

尾原ダム対策特別委員会、島根原子力発電対策特別委員会については12月定例会において設置を検討することになりました。

また、議会広報編集委員会と予算審査特別委員会の設置と一部事務組合議員の選出を行ない議会構成を決定し、議会の陣容が整いました。

詳細は次ページの「議会構成」をご覧ください。

追加日程として衆議院選挙に伴う平成24年度雲南市一般会計補正予算の専決処分の承認及び副市長に引き続き藤井勤氏を選任すること、監査委員の選任の2件について同意をしました。

議　会　構　成

【議　長】
深田　徳夫

【副議長】
藤原　信宏

【議会運営委員会】
◎小林　眞二
○堀江　治之
佐藤　隆司
高橋　雅彦
福島　光浩
細田　実
周藤　強

【常任委員会】

総務常任委員会
◎高橋　雅彦
○周藤　正志
松林　孝之
矢壁　正弘
白築　俊幸
安井　誉
堀江　治之

教育民生常任委員会
◎福島　光浩
○山﨑　正幸
中村　辰眞
原　祐二
多賀　三雄
周藤　強
藤原　信宏

産業建設常任委員会
◎佐藤　隆司
○西村雄一郎
細木　照子
土江　良治
細田　実
堀江　眞
小林　眞二

【特別委員会】

尾原ダム対策特別委員会
◎周藤　強
○周藤　正志
白築　俊幸
佐藤　隆司
土江　良治
山﨑　正幸

島根原子力発電対策特別委員会
◎堀江　眞
○多賀　三雄
松林　孝之
矢壁　正弘
安井　誉
細田　実
藤原　信宏

議会広報編集委員会
◎土江　良治
○矢壁　正弘
松林　孝之
中村　辰眞
多賀　三雄
細木　照子
小林　眞二

予算審査特別委員会
◎細田　実
○白築　俊幸
（議長を除く全議員）

◎…委員長
○…副委員長

一部事務組合等議会

雲南市・飯南町事務組合議会議員
深田　徳夫
白築　俊幸
細田　実
原　祐二
高橋　雅彦
藤原　信宏

雲南広域連合議会議員
深田　徳夫
土江　良治
堀江　眞
周藤　正志
山﨑　正幸
周藤　強
堀江　治之

第3回臨時会及び12月定例会で同意された人事案件

副市長
藤井　勤

教育委員会委員
土江　博昭
星野　淳

監査委員
谷戸　邦夫
安井　誉

公平委員会委員
若槻　益雄
古林　修
塔間　絹子

地元での需要喚起策に

12月定例会

３期目が始動

12月定例会は12月７日から21日までの15日間の会期で開かれました。初日、市長から所信表明冒頭に職員の不正行為発生の報告とお詫びがあったのち、「市長選挙におけるご激励とご叱責を糧に市勢発展のため全力をあげて市政運営に取り組む」とし、遂行しようとする施策を強調しました。

今議会で「平成24年度一般会計補正予算」、また「後期高齢者医療事業特別会計」など６件の補正予算など慎重に審査し、21日の本会議において原案通り可決しました。

予算

一般会計補正予算
１億５，８８０万円を追加
総額２９５億１，８９０万円

歳出の主なもの

■介護給付・訓練等給付事業
事業費見込増
３，８５０万円
総額９億２，１２０万円

■私立保育所運営事業
受入児童数の変更に伴う負担金の増
１，９５３万円
総額２億５，７１５万円

■生活保護扶助事業
医療扶助費見込額の増
２，６００万円
総額２億８，３６０万円

■予防接種事業
子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌予防接種見込者数の増
２，８７９万円
総額１億１，０８１万円

■地域貢献型集落営農ステップアップ事業補助金
地域の活性化に貢献する集落営農が実施する事業に対する助成の増
６０９万円
総額２，４４１万円

■担い手農地集積事業補助金（新設事業）
耕作放棄地の対策並びに農業所得の確保のため、認定農業者、集落営農が６年以上の農地利用権を設定した場合10ａ当り１万円の集積助成
５００万円

■有害鳥獣捕獲奨励事業
有害鳥獣捕獲頭数見込増加及びサル駆除事業実施による増
１，０２０万円
総額２，３９４万円

■商工業活性化支援対策事業補助金
金融支援対策補助（保証料補助）上乗せ分
６００万円
総額１，３００万円

■商工業振興補助金
プレミアム付商品券発行事業・経営相談支援事業
２，５０６万円
総額５，２９４万円

■ゆとりの里温泉公園管理事業
元ゆとりの里　構造物解体・造成工事
２，８００万円
総額３，７４９万円

プレミアム商品券

販売期間
平成25年1・21～1・31
使用期間
平成25年1・21～3・17

1月21日より発売のプレミアム商品券

条例制定

■雲南市市長及び副市長の給料月額の特例に関する条例
職員の公金取扱い事務における不正行為に伴うもので、それぞれ給料減額10％、1カ月とするもの

一部改正された条例等

■雲南市掛合高齢者生活福祉センター条例
事業内容の一部変更に伴うもの

■雲南市手数料徴収条例
島根県が取り扱っている市内建築物の建築確認事務を雲南市(限定特定行政庁設置)が行うことに伴うもの

■雲南市立小学校及び中学校設置条例

■雲南市立学校施設使用条例
中野小学校閉校に伴うもの

■雲南市尾原農村公園・多目的広場条例
指定管理制度導入のため

■雲南広域連合規約
広域連合が処理する事務に下水道事業(汚泥処理)を追加するため

■公の施設「飯南町生活路線バス」の区域外設置に関する協議
飯南町生活路線バスが「たたらば壱番地」まで乗り入れに伴う協議

指定管理者の指定

■畑鴨森林公園
畑鴨森林公園管理部

■入間コミュニティセンター

■大東健康福祉センター

■掛合健康福祉センター

■掛合高齢者生活福祉センター

■特別養護老人ホームえがおの里
社会福祉法人
雲南市社会福祉協議会

■加茂健康福祉センター
社会福祉法人
かも福祉会

■出雲大東駅
雲南市出雲大東駅管理組合

■大東体育文化センター
特定非営利活動法人
まちづくり工房うんなん

■海潮コミュニティセンター
海潮コミュニティセンター管理会

■道の駅たたらば壱番地
株式会社　吉田ふるさと村

いずれも指定期間は平成25年4月1日から3年間。ただし「たたらば壱番地」は1年。

指定管理を受けた出雲大東駅舎

総務常任委員会

委員長　高橋雅彦

（審査の総括）

付託議案は条例1議案、規約1議案、協議1議案と「公の施設の指定管理者の指定」1件、予算審査特別委員会委託案件3議案の審査を行いました。

審査の結果、全て全会一致で可決すべきものと決しました。

（条例関係）

・雲南市市長及び副市長の給料月額の特例に関する条例の制定について

市職員の横領事件に対する市長及び副市長の10％、1カ月減給に係る条例です。職員については当初は過疎債を財源としていたが、構成市町に過疎債配分枠があり、充当率及び交付税算入額が同じである防災減災事業債を雲南広域連合においての借入れに変更するためとの回答がありました。

規程に基づく懲戒審査委員会で過去の事例も参考に判断したこと。市長・副市長については規程がないため、市長の判断で決定した旨の答弁がありました。また、当該職員を公表しなかった理由については、同規程に基づき、警察で公表がなされなかったためであるとの答弁がありました。

（予算関係）

・雲南市一般会計補正予算

消防緊急無線デジタル化に伴う7，777万円の負担金減の理由について質問し、

デジタル化された消防緊急無線室

教育民生常任委員会

委員長　福島光浩

（審査の総括）

付託議案12件と予算審査特別委員会からの委託案件3件、陳情1件について審査しました。審査の結果、陳情は継続審査、その他は全会一致で可決すべきものと決しました。

（条例関係）

・雲南市立小学校及び中学校設置条例及び雲南市立学校施設使用条例の一部を改正する条例について

中野小学校の閉校に伴い、教育財産から普通財産に移行します。同様の遊休施設が今後も増えていくと予想されることから、予算を含めた施設管理のあり方や担当部署について整理を求めました。また、地域の活用実態や意向を確認したうえで、有効利用が図られる利用料の設定など早急に行うことを求めました。

（予算関係）

保育所施設修繕事業は三刀屋保育所駐車場アスファルト舗装工事です。市道南通り線の開通に伴い交通量が増えていること、駐車場が県道につながる抜け道になっていることから十分な安全対策をとることを求めました。

舗装される三刀屋保育所駐車場

産業建設常任委員会

委員長　佐藤隆司

（審査の総括）

条例の付託議案4件と予算の委託議案4件について審査しました。審査の結果、すべてを原案のとおり可決すべきものと決しました。

（条例関係）

吉田町に建設される、道の駅『たたらば壱番地』の指定管理を吉田ふるさと村に指定することについては、初めての運営であり、指定管理料は柔軟な対応を求める意見や管理の範囲また県からの支援についての質疑をしました。

執行部からは、予算の範囲内で、休憩棟と振興施設棟一体の管理としている。県からは、100万円の支援があるとの説明でした。

（予算関係）

プレミアム商品券の地域内循環の考え方、商品券の取扱い方、買い控えへの対応などの質疑をしました。

また、商工会からは少なくとも3年間の支援が必要であるとの要望があり、継続性の必要性や商品券の経済効果をより高めるためには、ポイントカードとの併用、小売店間のスタンプラリー、東日本大震災への支援付きなど商工会独自の特典を付けることで、より購買意欲の喚起につなげるよう求めました。

4月オープンを目指して着々と工事が進む道の駅「たたらば壱番地」

予算審査特別委員会

委員長　細田　実

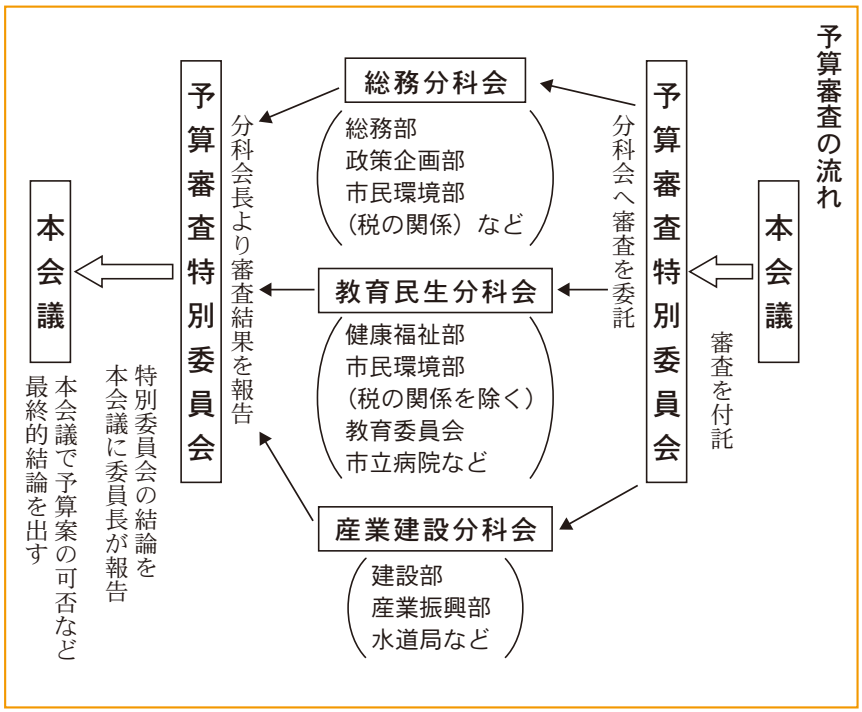
予算審査特別委員会は議長を除く全議員21名で構成、本会議で付託された予算案を審議します。

以前は本会議で各常任委員会へ予算案を分割して付託し、審議していましたが、分割付託は好ましくないとされ、こうした審査方法をとるようになりました。

予算案の修正が必要になった場合、特別委員会で議論し修正するなど、特別委員会を活用することによって議会の機能も充実させる事ができます。

予算委員会の持ち方は自治体によってさまざまで今後の改革も検討が必要です。

予算審査の流れ



16名の議員が登壇

ズバリ市長に問う！ 一般質問

一般質問のページは質問者本人が作成した原稿をもとに広報委員会で編集したものです。なお、全ての質問項目を掲載してはおりません。

堀江治之

下水道の負担金・分担金の一元化は

問い 下水道の負担金、分担金の市内一元化はしないのか。（現状　公共下水道の負担金は一カ所13万円から最高８５２万円で65倍の差、農業集落排水、浄化槽設置の分担金は８万８０００円から20万円で2・3倍）

市長 市内の下水道整備率88％の現状ではこれまで拠出された方との不公平感が生まれるので、これまでのやり方を踏襲するのが妥当と判断した。審議会で再検討する考えはない。

問い 財政非常事態宣言下、休止されていたまちづくり事業の今後の対応策は。

建設部長 他の事業とのバランスを考えながら、当面今後５カ年の市道整備計画等見直すことにしており、実施計画、中期財政計画の中で再度協議しながら、可能なものからやっていきたいと考えている。

問い 高齢者介護の対応策は。

健康福祉部長 高齢者人口は、平成29年頃がピークとなる。その後緩やかに減少し、平成37年頃には現在とほぼ同人口の見通しである。当面平成26年度までの第５期介護保険事業計画では特別養護老人ホーム70床の整備計画がある。介護職員も不足する見込であり、介護職員の養成も今後図っていく考えである。

佐藤隆司

2弾・3弾の商品券事業を

問い プレミアム商品券がバラマキとなってはならない。単発ではなく2弾・3弾の支援が必要では。

産業振興部長 商工会から、３年間は支援の継続が必要との要望がある。市としては今回の状況を見極めながら検討する。

問い 商工会のポイントカードシステムは市内統合と支援が必要では。

産業振興部長 導入の設備、運営、各組織の意見調整が必要。今後、商工会の検討状況を踏まえ、支援の可能性を検討する。

問い 中長期的経済対策として新築住宅の助成をすべきでは。

建設部長 市内業者による新築住宅の実績が少なく、経済対策としては考えていない。

問い 尾原ダムの市有地の有効活用として太陽光発電施設を設置すべきでは。

市長 メガソーラーは民間から打診がある。下布施残土処理場は農地・牧草地の計画があり、併設が可能であれば目指すことも必要であるが、今はそれ以外の場所で模索をしている。

問い 公共事業発注による市内業者への受注機会の拡大策は。

総務部長 分割発注など、発注機会の拡大に努めている。

問い 庁舎建設は、地元経済効果につながる設計にしては。

総務部長 価格は適正な設計単価で実施していく。

公共工事現場

細木照子

合併後も生活道路改良の気配ない

問い 合併前の大東町で、地元幹線道路改良の約束をされていた。しかし合併後は8年も経過して改良の気配すらない。総括的な見通しは。

建設部長 佐世地区の道路事情は重々承知している。緊急性や整備効果、地域バランス等を考慮し実施計画に計上し、着実に改良整備を促進したい。

問い 郵便等による投票の条件緩和を国へ働きかける考えは。

総務部長 実態調査をし、必要であれば働きかけを行いたい。

問い 8年後の介護難民を出さない取り組みは。

健康福祉部長 雲南広域連合等を通じ国や県に介護職員の育成、労働条件の改善等の支援を要望する。

問い 10月の全国共進会の島根和牛の惨敗は行政の指導不足が主因だ。畜産振興について伺う。

産業振興部長 技術指導を行う専門職員の充実強化が必要。現在は農協に指導職員が配置されている。

交差のできない狭い生活道路

問い 全国の学校でいじめが多発しているが、戦後教育の基本に反省するものは。

教育長 学校教育、社会教育による教育力を高め、いじめのない学校づくりに努力したい。

問い 雲南市に公衆便所の数が少ない。

総務部長 市内に83カ所の公衆トイレがある。案内標識の検討もしたい。

藤原信宏

機能的で簡素な新庁舎の建設を

問い 狭小で老朽化した暫定庁舎に替わる新庁舎建設に、唯一の優良起債である合併特例債の適用を逃す事は許されない。本庁機能を1カ所に集約したスリムで機能的な庁舎の建設は行革推進上も極めて重要だ。新庁舎建設は、合併協議会から新市の議会へ、市民意見の吸い上げと、着実に手続きを経て準備を進めてきた。引き続き丁寧な説明責任を果たしつつ、粛々と進めるべきと考えるがどうか。

総務部長 これまでの経緯を踏まえ粛々と進めて参りたい。

問い 経費節減のため、熱効率の悪い吹き抜け等は十分精査し、執務室を優先した無駄なスペースの無い効率的でコンパクト、簡素な造りに徹する考えについてはどうか。

総務部長 吹き抜け等については十分に検討し、市民の皆様に親しまれる、効率的で利便性の高いコンパクトな庁舎建設を目指したい。

問い できる限り地域の実勢単価に見合うよう、シッカリと積算をチェックし、市内業者への発注を図ることはどうか。

総務部長 適正価格での発注はもとより、できる限り地元業者が工事に参加できるように努める。地元産材の活用等、地域経済の活性化に繋がる仕掛けも考える。

新庁舎予定地

中村辰眞

市民を守るための防犯カメラ設置を

問い 平成27年開校予定の特別支援学校高等部分教室の概要は。

教育部長 知的障がいの単一障がいを対象とし定員は24名。1学年当り8人の3学年で三刀屋町地内が候補地である。

問い スクールバスの運行計画はあるか。

教育部長 専用スクールバスの設置は県から聞いていない。

問い 障がい種別の拡大を望む声が多くあるが。

教育部長 知的障がいの単一障がいに限った開設だが保護者と相談しながら要望を続けていく。

問い 市内に設置してある子供たちを守るための防犯カメラの現状は。

統括危機管理監 木次小学校、大東小学校、市役所時間外出入口、チェリヴァホールの4ヶ所。

問い 通学路を確認する防犯カメラは。

統括危機管理監 認知症徘徊SOSネットワーク等での活用。

問い 防犯以外の活用法は。

統括危機管理監 警察指導による適切な管理のもとで設置する必要がある。

問い 中国横断道開通により県外からの犯罪流入が考えられるが。

統括危機管理監 警察指導による適切な管理のもとで設置する必要がある。

問い 防犯以外の活用法は。

統括危機管理監 認知症徘徊SOSネットワーク等での活用。

多くの設置が望まれる防犯カメラ

矢壁正弘

地域の環境整備は積極的に促進を

問い 市庁舎の建設に伴いその他の事業予算が停滞しないか。

総務部長 庁舎建設の実施時期や事業費は、実施計画や中期財政計画の期間内でその他の事業との調整、あるいは事業費のバランスを考えた上での計画であり、他の事業が停滞することはない。

問い 除雪作業を担ってきた地元建設業の減少に歯止めがかからない。今後の除雪体制のあり方について方針はあるか。

建設部長 建設業者だけでなく、地域の道路事情に詳しい各種団体への除雪委託の働きかけや市も機械購入、リースするなど、地区内のオペレーターを確保。直営も視野に入れ対策を検討している。

問い 市立雲南病院改修計画の中で、県ドクターヘリのヘリポート設置等、連携強化の方針はあるか。

病院事業副管理者 当初の基本構想にはない。屋上に設置すると事業費が1億円以上かかる。今後は市と協議していく。

問い 幼・小・中学校の統廃合計画について保護者など子育て世代の声が十分反映されているか。

教育部長 統廃合に当り保護者、地域住民の皆様と協議を重ねていく。

除雪風景

多賀三雄

医療費無料を中学まで

問い 医療費無料を中学まで進めないか。

市長 定住環境に直結する。財源も考えて取り組んでいく。

問い 危険な原発即時ゼロにすべきでは。

市長 将来的には同感。代替発電の確保などの国の判断と、雲南市も安全協定を結ぶ必要がある。

問い 消費税増税は市民生活・地域経済・市財政からみて反対すべきでは。

総務部長 家庭の負担、中小業者の価格転嫁、景気後退への懸念がある。市は法により粛々と進めるが、現場からの声はしっかり上げていく。

問い 農業、くらし、経済を壊すTPPに反対の明確な行動を。

市長 地域経済に計り知れないマイナス。全国市長会も国が国民的合意を得るべきと決議した。市は絶対反対を言い続ける。

問い 庁舎新築より病院改修優先をの声をどう受け止めるか。

市長 合併協議会から手続きを踏んできた。選挙の争点だったとは思わない。災害時の拠点として欠かせない。財政運営をしっかりしていく。

問い 教職員にもっとゆとりを。

教育長 一人一人に向き合うゆとりが重要。支援員などを年々増やしてきた。

問い 住宅リフォーム助成継続・拡充を。

建設部長 約10倍の経済効果。継続し、利用拡大を図りたい。

「子育てするなら雲南市」に

高橋雅彦

将来を担う若者に 市政参加の道を

問い 市長選挙を通して、今後どう取り組むか。

市長 情報の発信方法について工夫が必要だ。特に、朝早く出かけ夜遅く帰られる方に対しての情報提供の取り組みが少なかった。情報発信手段や工夫を重ね、今やっていることが市民に見える実感を抱いていただける市政運営を実践していきたい。

問い 市民の知る・言う・参加する権利について伺う。

政策企画部長 市政懇談会、まちづくり懇談会、市報、ホームページ、ケーブルテレビ、「よくわかる予算書」の全戸配布など情報提供をしている。行政がテーマを設定し、想いをカタチにと市民参加の協働提案事業も展開している。また、来年度から市民参加による円卓会議方式の意見交換の場を検討している。

問い 若者に対する施策を伺う。

政策企画部長 桜祭りで実施する体感フェアで中高生90人、大学生30人が参加し運営スタッフとして活動している。中学3年生の「幸雲南塾inさんべ」には15人の高校生がスタッフとして活躍した。また、社会人を対象に昨年から「幸雲南塾・地域プロデューサー育成講座」を開催している。これらの取り組みをベースに若者によるまちづくりにつながる機会創出に努力したい。

第2回開催 幸雲南塾

安井 誉

均衡あるまちづくりをめざせ

問い 農業や林業の振興は。

産業振興部長 6次産業化や担い手育成に取組むほか、林業は森林経営信託事業などを取り入れている。本年からバイオマスエネルギー事業にも本格的取組みもしている。

問い 畜産の取組みは。

市長 JAとの連携の中、行政がしっかりと役割りを果す。

問い 雇用対策は。

市長 8年間しっかり取組んで来た。県の担当部局、都会地事務所に配置している専門員と連携して進める。

問い まちの活性化対策はどう進めるか。

市長 雲南ブランド化プロジェクトを進めている中、地域自主組織に頑張ってほしい。永井記念館は平和のまち宣言の拠点とし、今後、検討を進める。

問い 環境整備と安心安全な街づくりをどう進めるか。

建設部長 治山治水道路等危険個所の点検を行い年次計画をたて対応したい。公共施設の営繕は68カ所10億4400万円を想定している。早急に対応する必要がある。災害復旧は25年1月発注で終りたい。

問い 今後の市政の方向性を示せ。

市長 原発問題、交付税一本算定など国に賢明な判断を求め、安心安全、健康長寿を掲げ明るく住みやすい雲南市を目指す。

平和拠点永井記念館

原 祐二

地元企業と商店の育成で受注を

問い ホームページの利点が生かされていないが、情報発信の意思決定方法は。

政策企画部長 職員に市民の皆さんと情報を共有するという意識浸透をはかり、担当課での判断から全体的にバランスのとれた体制に検討する。

問い 選挙速報や開票結果をホームページで情報発信すべきでは。

総務部長 速報は、次回の市長選挙、市議会議員選挙から実施する。開票結果は、積極的に情報発信に努める。

問い 交流センターの備えるべき設備、施設、規模をどう考えているか。

政策企画部長 現在整備計画を策定中である。施設としてあるべき基本的な基準等は、①地域自主組織の活動拠点②地域の防災拠点③集まりやすい施設④集会機能がある施設の4つの観点に沿い整備を考える。

問い 地元企業や、商店の皆さんを育成し、受注できるようにしなければならないと思うが所見を伺う。

産業振興部長 市内の企業、商店等へ多くを発注できるように願っている。経営支援を強化するほか、事業の効率化や拡大に向けた人材育成支援など、商工会とともに取り組みを進めている。

三刀屋商店街

細田 実

市長選の結果をどう受けとめる

問い 市長選挙の得票は速水市長6割、藤原隆広氏4割となった。新市庁舎建設、財政運営と市民負担など、市政への批判である。4割の批判票をいかに市政に生かすのか。

市長 6割の得票は一騎打ちの選挙では一般的な得票数と思っている。2期無投票への批判と情報がしっかり伝わっていなかった。情報発信を改めて考え直し政策に当っていかなければならない。

問い 市長は市長選挙で3つの課題、7つの約束をされた。8年間の速水市政を見ると、どの約束も容易ではない。どう取り組むのか。

市長 8年間実践してきた事をさらに進める。財政的にも一定の目途を立てたことである。実践していく自信を持って進めていかなければならない。

問い 所信表明で将来原発に頼らない社会の実現を表明された。いつの時点を将来と指しているのか。それに向けどのように取り組むのか。

市長 電力不足にならないか、電気料金値上げに結びつかないか、そういう懸念が払拭できる段階と言わざるを得ない。原発に替る発電方法の確立が必要である。

選挙風景

堀江 眞

安心安全な暮らしのための定住対策を

問い 最寄りまで車いすが入らないような民家が何軒あるか。

健康福祉部長 多いが把握していない。

問い どう思うか。

市長 現状を把握した上で業務を行っていると思う。

問い 行き止まり道路の解消はどうか。

建設部長 33カ所あるが現在まで進捗していない。

問い 待避所など応急処置が必要では。

市長 行政の責務として計画的に進める。進捗していないが停滞しているわけではない。理解を。

問い 上水道の普及率は。

水道局長 現在94％。水道計画終了で約97％となる。拡張計画はない。残りは個別井戸で対応する。

問い 奥出雲・飯南町産米と吉田・掛合産米に250円の価格差がある。良質米として同じ評価を受けるべきではないか。

市長 同感だ。農家の生産意欲減退につながる大きな損失だ。関係機関に強く要望して行く。

問い 市内にあるセシウムを含む堆肥をどう処理するのか。

産業振興部長 全てのセシウム堆肥を施設で保管処理する。

問い どこが管理するのか。

産業振興部長 JA雲南で建設し管理。市も積極的に係わる。

改良が望まれる狭隘（きょうあい）な道

山崎正幸

奥出雲和牛の改良に向けた取り組みは

問い 長崎県で開催された第10回全国和牛能力共進会において失遂した奥出雲和牛の改良、ブランド力の回復に向けた今後の取り組みは。

産業振興部長 排水不良等の農業基盤の課題について、実情に応じたきめ細やかな簡易な整備が必要である。今後は、国や県の事業を活用して、簡易な農地整備を推進していく考えである。

問い 森林整備の観点から、たたらの里山再生総合特区を活用して、山地放牧に取り組む考えは。

市長 森林バイオマスエネルギー事業を手段として森林を整備し、併せて山地放牧も進めていければと考えている。

問い 自宅から目的地まで移動が可能なデマンド方式の導入に対する計画は。

政策企画部長 再編計画に基づき、交通空白地域の解消のため、順次デマンド方式の実証運行を経て本格導入を進めたい。

共進会風景

土江良治

54号誘客対策に「じゃばら」は

問い 尾道松江線が開通すると54号の交通量が激減し地域経済への影響が懸念される。雲南市の動きは鈍い。そこで提案。和歌山県北山村では他の柑橘類より優れた「じゃばら」を栽培。たった5000人弱の村で2500万円の売上が4年後で2億1700万円。果汁もいいが特に果皮がいい。

花粉症の季節がまた始まる。雲南市には温泉が10カ所弱もある。雲南市の温泉に行けば「じゃばら風呂」があり、治るらしいとなれば54号利用が増える。この栽培を奨励できないか。

産業振興部長 現時点では部分的な取り組みが必要ではないか。特徴ある温泉情報の発信については取り組みを検討していきたい。

問い これまで雲南市のふるさと納税は県内8市で1位から3位をキープ。出雲市などはお礼に特産品を贈って好成績を上げている。市内特産品の需要喚起のため、特産品をつければより納税者も増えると思うのだが。

政策企画部長 本市でも今後方法を含めて検討していく。

問い 市職員の内で市外在住職員は何名このふるさと納税をされているのか。

政策企画部長 市外在住は62名。内、納税者職員は11名で総納税額は54万円。

掛合 道の駅

福島光浩

多子世帯への支援策拡充を求める

問い 効果的な少子化対策として、多子世帯への支援を早急に講じるべきだと考えるがどうか。

健康福祉部長 3人目以降5歳以下の保育料免除をしている所もあるが、市では子育て世代全体に恩恵がある経済的支援を図っている。

市長 保育料軽減・医療費無料化など、様々な声に耳を傾け実践していくスタンスをとっていきたい。

問い 放課後児童クラブ事業の今後の展開方針は。

健康福祉部長 受入れ年齢を6年生まで拡充する動きがあり、放課後子ども教室との連携も含めて、地域ニーズに沿った制度を検討していく。

問い 連携が生まれてきている島大生の力を生かし、地域づくりにつながる子ども支援事業を展開する考えは。

教育長 学生が企画運営し、地域と活動することがサマースクールなどにつながるならば、全面的に支援していきたい。

問い 高齢者生活支援を充実させるためには、地域だけでなく思いのある団体が自由に事業展開できる環境整備が必要だ。今後の方針は。

健康福祉部長 公平性が問われる行政では地域の特性に合ったサービスや施策ができにくく、提案型の補助金制度の検討も必要と考えている。

遊ぶ子どもたち

周藤正志

待機児童をゼロにする対策が必要

問い 本庁舎が防災拠点であるなら、建設後50年は想定外の災害があっても、大丈夫であることを将来世代にも担保しなければならない。市民の建設場所や費用に対する不安や疑問を払しょくする具体策を示し、説明責任を果たすべきでは。

副市長 将来悔いの残らないよう建設には万全を期す。今年度末の基本設計の中で、一定の方向をまとめていく。

問い 毎年待機児童が10人近く出ている。「子育てするなら雲南市」であるなら来年には、ゼロにする対応が必要では。

健康福祉部長 来年4月からの「木次こども園」の開園と入所調整によって、待機児童解消に努める。

問い 「木次こども園」を近い将来、一体的施設として整備し、子ども・保護者にとって、最良の保育を提供すべきでは。

市長 できるだけ早い時期に「木次幼児園」との整備が必要だ。

問い 来年度以降も10億円の繰上償還が予定されているが、これを見直して、少しでも市民生活の向上が図れる施策にまわすべきでは。

総務部長 交付税の一本算定が始まる平成27年度までに、できるだけ繰上償還をし、健全財政の基礎をつくることが大切だ。

一体化の決まった木次幼稚園

請願・陳情 審査結果

継続審査

県に乳幼児等医療費助成制度拡大の意見書提出を求める陳情書

島根県保険医協会
会長　吉岡繁治

議会報告会の開催

■**平成25年2月4日（月）**
・一宮交流センター（三刀屋町）
・波多交流センター（掛合町）

■**平成25年2月5日（火）**
・斐伊交流センター（木次町）

■**平成25年2月7日（木）**
・春殖交流センター（大東町）

■**平成25年2月8日（金）**
・中山団地自治会館（加茂町）
・菅谷地区内（吉田町）

●**開会時間**
（19時～20時30分）
※但し、吉田町は（18時～19時30分）

議員発議

●**地方の社会資本整備の促進を求める意見書**

1．地方の安心・安全な生活確保と定住人口、地域活力の増加に資する公共事業の予算を確保すること。

2．地方の実情に合せた公共事業が計画的に実施できるよう、社会資本整備が遅れている地域に重点的に配分を行うこと。

3．大規模で広域的な災害に迅速に対応できるよう、更なる危機管理機能と体制の充実、拡充を図ること。

提出先　国関係機関

市長・市議会議員選挙の投票率

平成24年11月18日執行の選挙の投票率が分かりました。

当日の有権者数は3万4，989人。投票者総数2万8，555人で投票率は81・6％。ちなみに平成20年11月16日執行の市議会選挙で投票率は84・6％。

今回この内69・4％が投票所投票で不在者投票者数1・6％、期日前投票者は29％となっています。

投票率が高かった旧町は吉田町の84・7％、前回でも89・4％と高位置をキープしています。38ある投票所別に見てみますと、掛合第4投票区（松笠）が90・05％でトップでした。

編集後記

政権交代。財政規律も心配される矢継ぎ早の緊急経済対策。雲南市の新年度予算は…。

雲南市議会も新しい「7人の侍」が戦列に加わった。緊張感の中に新鮮味が漂う。

広報委員は議会終了後から「議会広報」発行まで1ヶ月間は落ち着かない。限られた紙面の中に、読んでいただける文字を埋め込む作業に没頭する。

新しい年。議員も心新たに活動を展開する所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。

編集メンバー

ご意見お待ちしています

議会活動、議会広報、議会ホームページについてご意見やご感想などお気づきの点をお寄せください。（回答が必要な場合はご連絡先を明記してください）

あて先　雲南市議会事務局
電話：(0854)40−1004
FAX：(0854)40−1009
MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp

議会広報編集委員会
委員長　土江良治
副委員長　矢壁正弘
委員　松林孝之
中村辰眞
多賀三雄
細木照子
小林眞二

雲南市議会のホームページを開設しています　雲南市議会　検索（クリック）